

# 明道小学校・風合瀬小学校 最後の卒業式

平成二十年度から深浦小学校と統合し閉校となる明道小学校と風合瀬小学で、最後の卒業が行われました。

三月十九日、明道小学校で卒業を迎えたのは六名で、保護者、教職員及び関係者が見守る中での卒業式となりました。

卒業生は、「塩見台で咲かせた花を、これからも大切に咲かせていきたいです」と力強く述べて、学び舎を巣立っていきました。



明道小学校の卒業生



風合瀬小学校の卒業生

三月二十一日、風合瀬小学校で卒業式が行われ、五名の卒業生はアニメや音楽の仕事をするなどの将来の夢を大きな声で発表しました。

卒業生は、保護者、教職員及び関係者が見守る中で、自分たちで作詞した曲の合唱、在校生と風の子太鼓の演奏などを披露して、母校との別れを惜しみました。

# 平成十九年度 生涯学習まちづくりフォーラム

三月九日、平成十九年度深浦町「生涯学習まちづくりフォーラム」が、町民文化ホールで開催されました。

このフォーラムは、ふるさとから多くを学び、郷土深浦を語れる人づくりを目指して行われたものです。



今年は、大間町の町おこしゲリラ「あおぞら組」組長、島康子さんを講師に迎えて、「一流の田舎とはまちづくりの秘訣、バラします」と題して、講演会が行われました。島さんは、NHKのドラマがきっかけで「あおぞら組」を結成したこと、フェリーの乗降客に大漁旗を振って出迎えること、マグロ一筋Tシャツが話題となり町の活性化につながったことなどの体験を通じて、町の活力の源は人であり、地域のみんなで力を合わせて行動を起こすことが大切なことだと述べました。

その後、参加者らは数人のグループに分かれて、深浦町活性化の方法について意見交換し、地元産品を使用した郷土料理大会の開催、観光客、修学旅行を誘致しての農業・漁業体験、町の夜空を生かした宿泊プランなど、町の活性化対策について熱く語っていました。